【授業科目】コンサルテーション論　　Consultation

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
吉田 和枝、永井 優子	１年次 後　期	選　択	２	３０	講　義	巻末 掲載

授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	コンサルテーションの概念、機能と役割、その過程におけるダイナミクス等の理論、および高度な看護実践におけるコンサルテーション活動を展開する能力について、経験や文献等を踏まえて、ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝと討議を行い、実践的に検討する。受講人数によって演習方法等について変更する可能性がある。 授業においてはとくに、看護を効果的に展開するために必要なコンサルテーションの重要性と実践的技法について、事例に基づいて討議する。授業は実務家教員（吉田、永井）が進める。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／討議、プレゼンテーションを通して、ピアおよび教員からコメントを伝える。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー①～④の達成に寄与している。
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	1. コンサルテーションの基礎的概念、機能と役割、その過程におけるダイナミクス、等の理論について理解する。 2. 高度な看護実践におけるコンサルテーション活動を展開する能力について実践的に理解する。 3. コンサルテーションの知識や技術を用いて、実践場面での適応を具体化できる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	事前に指定された文献について目を通しておくこと（各 1 時間)。 英語文献については各自和訳し内容を把握しておこと（3 時間)。 講義後は、各課題についてまとめ、プレゼンテーションの準備を行う（各 2 時間)。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1 回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	1.　**コンサルテーションと高度看護実践** 高度な看護実践におけるコンサルテーションの重要性について検討する。 2.　**コンサルテーションの定義** コンサルテーションの意味について、関連する他の概念である共同マネジメント(co-management)、協働(collaboration)、照会(referral)、スーパービジョン(supervision)などと比較して理解する。 3.　**コンサルテーションの基本概念** メンタルヘルスにおけるコンサルテーションの概念とコンサルテーションの型について理解する。 4.　**高度看護実践におけるコンサルテーションのモデル** コンサルテーションの原則を踏まえ、高度実践看護職が行うコンサルテーションのモデルについて理解する。 5～6.　**コンサルテーションのプロセス** 公式のコンサルテーションのプロセスについて理解し、非公式のコンサルテーションのプロセスについて検討し、高度実践看護職がコンサルタントとなる場合の特徴とコンサルテーションに影響する要因する。 7.　**一般的な高度看護実践におけるコンサルテーションの状況** コンサルテーションの対象が、高度実践看護職の場合、看護職(スタッフ、管理者)の場合、医師の場合、等の共通性と差異について理解する。 **コンサルテーションの促進** コンサルテーションを促進する要因について理解する。 8.　**高度看護実践におけるコンサルテーション能力の育成課題** 高度実践看護職に必要なコンサルテーション能力をどのように発展させるかについて検討する。 9.　**コンサルテーションを提供するために用いる技術** コンサルテーションを提供するために活用できる技術について検討する。 10. **コンサルテーションの評価** コンサルテーションの評価と中止する必要がある状況について理解する。 11.　**コンサルテーションに関する記録** コンサルテーションに関する記録及び法的側面について検討する。 12.　**看護実践を発展させるためのコンサルテーション** 高度実践看護職にとって最も重要な実践の変革につながるコンサルテーションの諸側面について検討する。 13.　**コンサルテーション能力の評価** コンサルテーションをする能力の評価方法について検討する。 14～15.　**コンサルテーションの実際** 受講生が提示する事例によるグループコンサルテーションの演習を行う。	1～8 永井 9～15 吉田
評価方法 評価基準	授業への参加態度（30%)、プレゼンテーション（30%)、およびﾚﾎﾟｰﾄ（40%）を総合的に評価する。

教科書	・日本専門看護師協議会監修(2009).精神看護スペシャリストに必要な理論と技法、日本看護協会出版会 ・野末聖香編(2004).リエゾン精神看護、医歯薬出版 ・川野雅資（2013).ｺﾝｻﾙﾃｰｼｮﾝを学ぶ	参考書等	・Geraldine S. Peason(2019). Consultation. In M. F. Tracy & E. T. O'Grady (Eds.), *Advanced practice nursing; An Integrative Approach* 6thed., pp. 203-224, ・St. Louis, Missouri :Elsevier その他必要時授業で紹介する。